

# 諏訪の景気動向

平成23年 2月

(平成23年 1月末 D・I調査)

平成23年2月18日

岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫

経営相談室

## 諏訪地方の景気動向（平成23年1月末）

「平成23年1月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

諏訪地方186社のご協力を得て行った1月末の「景気動向調査（D I調査）」では、回答全社の「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは $\Delta 25.2$ と前回調査時（平成22年10月末、以下同）の $\Delta 9.1$ から16.1ポイント悪化し2期連続のマイナスとなった。製造業の業況判断D Iは $\Delta 21.8$ と前回調査時の $\Delta 2.2$ から19.6ポイント悪化しており弱含みの推移となっている。非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）の業況判断D Iは、観光・サービス業で「悪化」企業の割合が増加したことから、同D Iは $\Delta 33.9$ と前回調査時の $\Delta 25.5$ から更に8.4ポイント悪化した。

製造業の「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは、「好転」企業9.0%、「横這」企業60.2%、「悪化」企業30.8%で同D Iは $\Delta 21.8$ と前回調査時の $\Delta 2.2$ から19.6ポイント悪化しマイナス幅が拡大した。

一方、先行きに関して「3ヶ月後」の業況予想D Iでは「横這」企業の割合が69.9%と最も多いものの、「好転」企業14.3%、「悪化」企業15.8%で同D Iは $\Delta 1.5$ と水面下ではあるが前回調査時の $\Delta 25.0$ から23.5ポイント改善しており下げ止まりが見込まれている。

収益性D Iでは「3ヶ月前」と比べ収益性が「好転」した企業が3.8%、「悪化」した企業が34.6%で同D Iは $\Delta 30.8$ と前回調査時の $\Delta 11.4$ から19.4ポイント悪化しており、また「前年同期」と比べた同D Iも $\Delta 3.7$ と前回調査時の24.2から27.9ポイントの大幅な悪化となりマイナスに転じた。

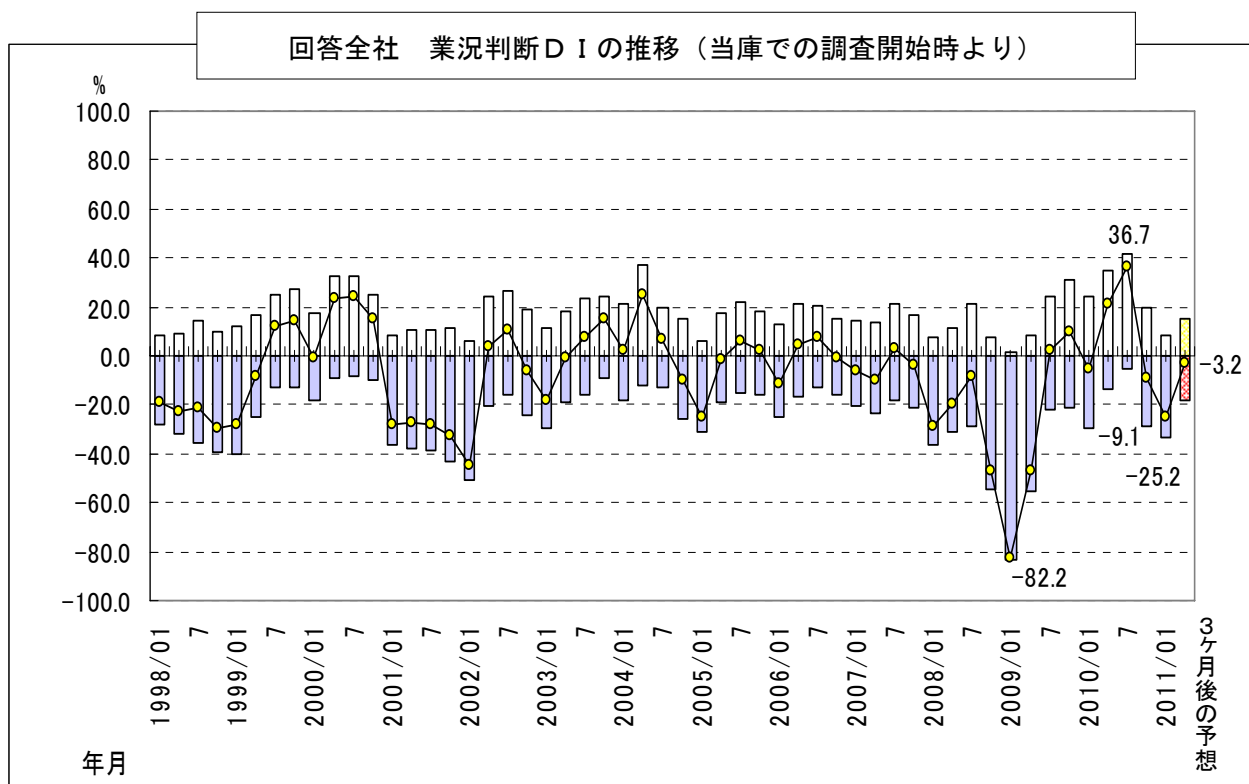
ヒアリング調査では、地域製造業の足元の受注水準は季節要因等もあり弱含んでいるが、春先以降は外需の持ち直しなどから緩やかではあるが踊り場の状況から回復へ向かうという見方も多い。ただし、円相場や資源価格等に加え、親会社の海外展開の進展を危惧する声は引き続ききかれる。

商業は、諏訪地方の1月の天候は冬型の気圧配置となる日が多く、降雪は少なかったものの気温は平年より低い日が多くなった。強い冷え込みから、衣料品では防寒衣料や発熱下着などの売れ行きは好調で、食料品でも鍋物食材等に動きがみられた。各業態とも店舗間の競合が激しいことから「3ヶ月前」と比べた来店客数D Iは $\Delta 43.8$ と大幅なマイナスとなった。ただし、「3ヶ月後」の業況予想D Iでは25.0%の企業が「好転」するとして同D Iは12.5とプラス転換を期待している。自動車販売では、諏訪地方の1月の車庫証明件数（軽除く）は804台で前年同月比 $\Delta 114$ 台（ $\Delta 12.4\%$ ）減少とエコカー補助金終了の影響から平成22年9月以降5ヶ月連続で前年同月を下回っている。

観光・サービス業は、秋の観光シーズンと信州DC期間中であった「3ヶ月前」と比べた宿泊客数は66.7%の施設で「減少」したとして、同D Iは $\Delta 47.7$ と大幅なマイナスとなった。ただし、「前年同期」と比べた業況判断D Iでは19.0%の施設が「好転」したとして、同D Iは $\Delta 14.3$ と前回調査時の $\Delta 39.2$ から24.9ポイント改善した。また、「3ヶ月後」の業況判断D Iは4.7とプラス転換が見込まれている。なお、信州DC終了後の誘客策として、JR東日本と連携したバック商品「あずさ de 温泉行き 信州諏訪」が3月末まで発売されており集客増加が期待される。

建設業の「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは「横這」とする企業が81.3%、「悪化」とする企業が18.8%で同D Iは△18.8と前回調査時の△12.5から引き続き水面下での推移となっている。また、「3ヶ月後」の業況予想D Iでは50.0%の企業が「悪化」を見込むなど厳しい状況を予想している。建築工事は、諏訪地方の12月の新設住宅着工戸数は103戸で、昨年同月の118戸に比べ△15戸(△12.7%)の減少となった。また、平成22年4月～12月の累計着工戸数は782戸で前年同期累計比では△166戸(△17.5%)の減少となった。なお、平成22年通年の住宅着工戸数は、全国は81万3,126戸と前年比+3.1%増加したもの、長野県内は1万650戸と前年比△3.0%減少、諏訪地域内は953戸と前年比△19.3%減少となった。1月の公共工事の発注状況は、県関係が22件234百万円、市町村関係が53件236百万円となっている。

雇用状況は、平成22年12月の諏訪地方の有効求人倍率は前年同月を+0.18ポイント上回り0.58倍と前年同月を9ヶ月連続で上回っているが、依然として低水準で推移している。また、長野県と同倍率は0.61倍、全国の同倍率は0.57倍となっている。なお、諏訪地域の12月の新規求人(全数)は956人で前年同月比+70人(+7.9%)の増加、新規求職者数は1,228人で前年同月比+13人(+1.1%)の増加となっている。また、1件10人以上の人員整理は1件13人で、事業主都合による雇用保険資格喪失者は60人と前年同月より△42人の減少、前月より△19人の減少となった。



## 業況判断D Iの推移 「3ヶ月前と比較して」

回答全社（186社）の「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは、「好転」企業が8.1%、「横這」企業が58.6%、「悪化」企業が33.3%で、同D Iは△25.2と前回調査時の△9.1から16.1ポイント悪化し2期連続のマイナスとなった。

製造業の業況判断D Iは、「好転」企業9.0%、「横這」企業60.2%、「悪化」企業30.8%で同D Iは△21.8と前回調査時の△2.2から19.6ポイント悪化しており弱含みの状況での推移となっている。

非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）の業況判断D Iは、観光・サービス業で「悪化」企業の割合が増加したことから、同D Iは△33.9と前回調査時の△25.5から更に8.4ポイント悪化した。

産業別業況表

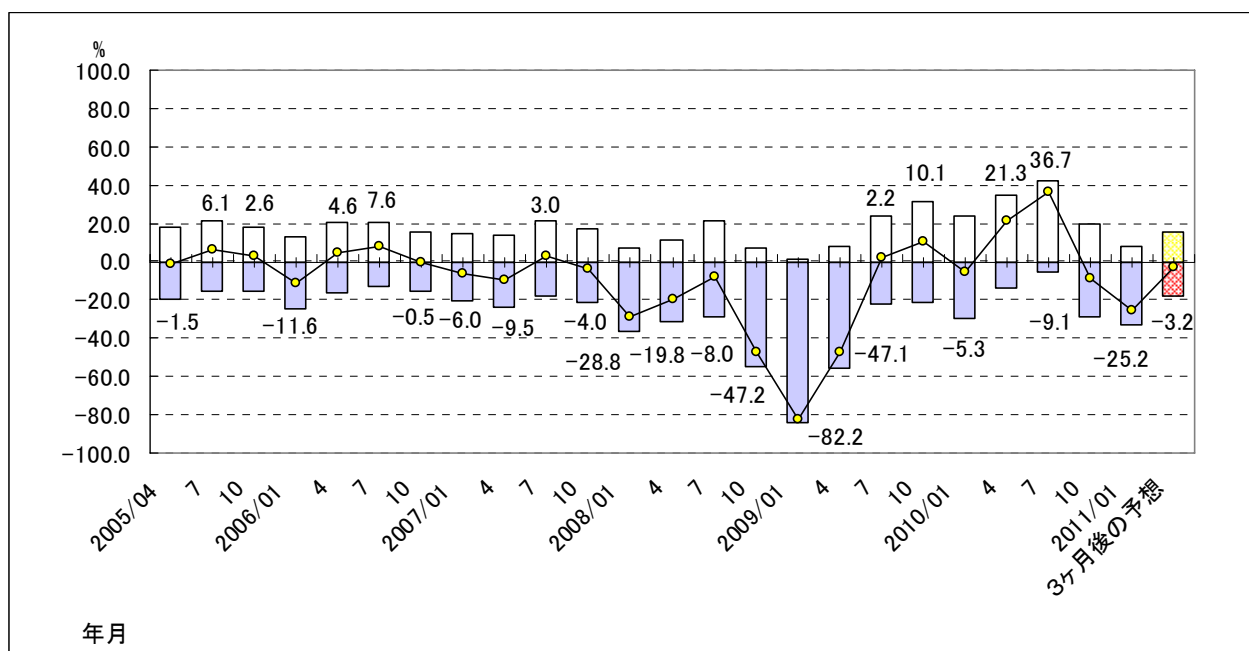
（企業数・%） 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	186	8.1	58.6	33.3	-25.2	186	32.3	41.4	26.3	6.0	186	15.1	66.7	18.3	-3.2
製造業	133	9.0	60.2	30.8	-21.8	133	40.6	36.1	23.3	17.3	133	14.3	69.9	15.8	-1.5
非製造業	53	5.7	54.7	39.6	-33.9	53	11.3	54.7	34.0	-22.7	53	17.0	58.5	24.5	-7.5
商業(大型店)	16	0.0	62.5	37.5	-37.5	16	12.5	50.0	37.5	-25.0	16	25.0	62.5	12.5	12.5
建設業	16	0.0	81.3	18.8	-18.8	16	0.0	68.8	31.3	-31.3	16	6.3	43.8	50.0	-43.7
観光・サービス	21	14.3	28.6	57.1	-42.8	21	19.0	47.6	33.3	-14.3	21	19.0	66.7	14.3	4.7

## 自社業況判断D Iの推移

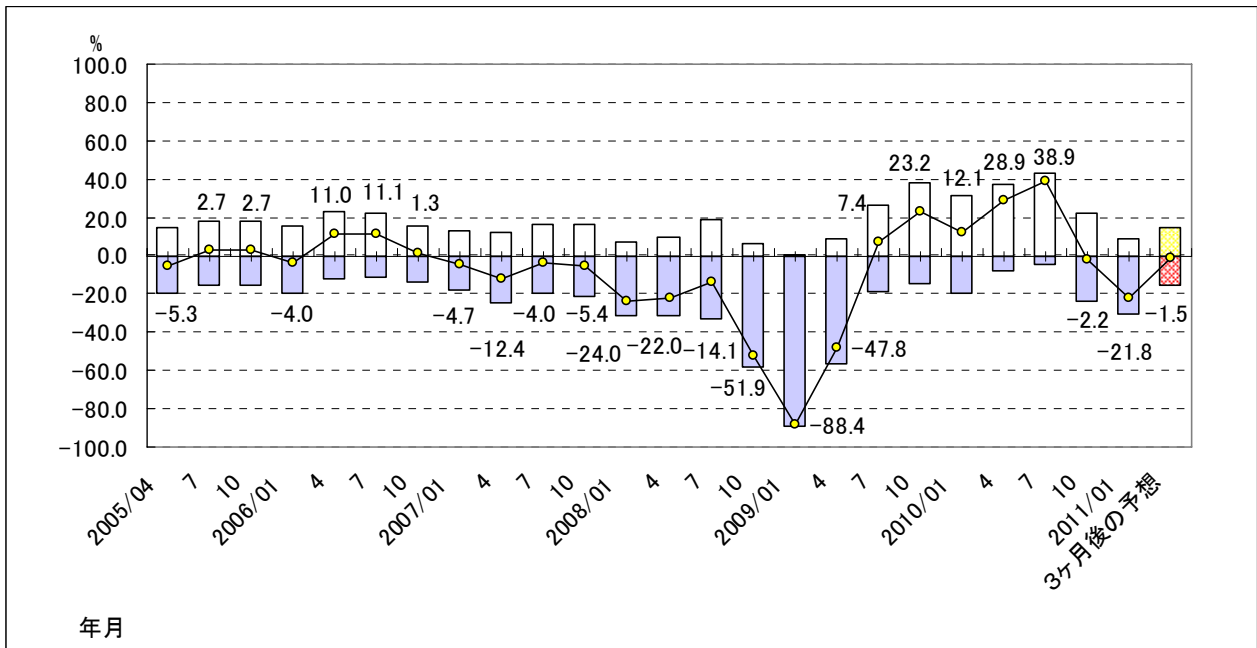
●回答全社：「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iの推移

グラフ-1



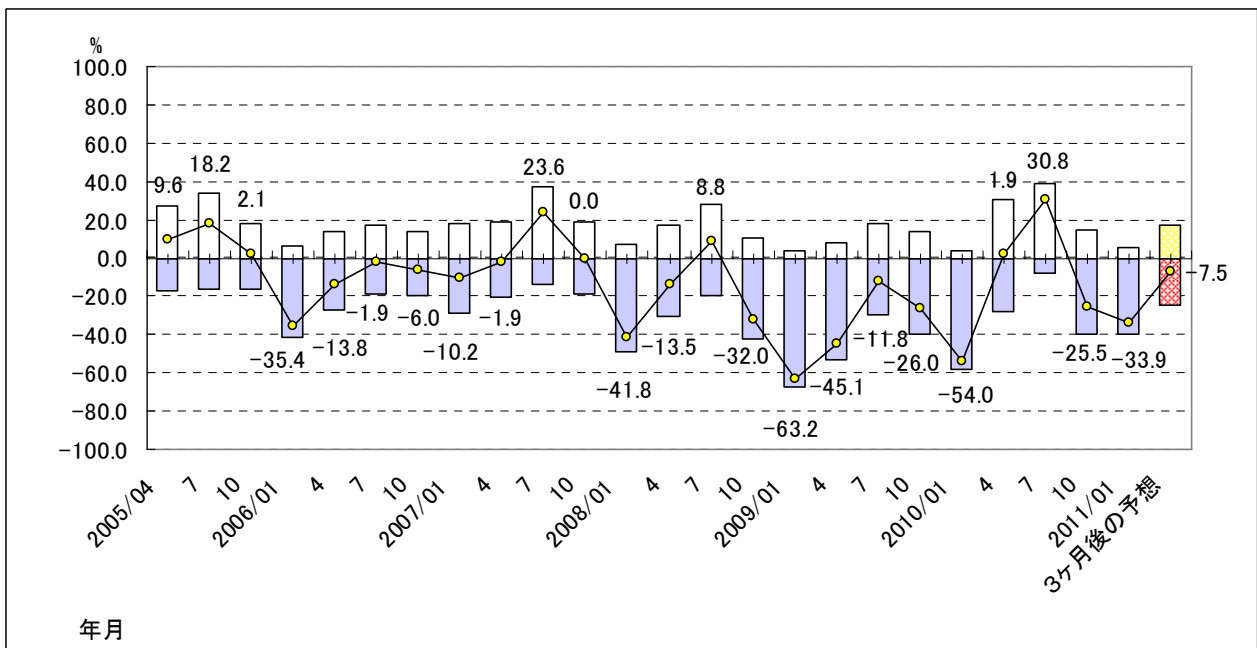
●製造業：「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iの推移

グラフ-2



●非製造業：「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iの推移

グラフ-3



## 産業別景気動向

### 1. 製造業

製造業全社の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「好転」企業9.0%、「横這」企業60.2%、「悪化」企業30.8%で同DIは△21.8と前回調査時の△2.2から19.6ポイント悪化しており弱含みの推移となっている。一方、先行きに関して「3ヶ月後」の業況予想DIでは「横這」企業の割合が69.9%と最も多いものの、「好転」企業14.3%、「悪化」企業15.8%で同DIは△1.5と水面下ではあるものの前回調査時の△25.0から23.5ポイント改善しており下げ止まりが見込まれている。

収益性DIは、「3ヶ月前」と比べ収益性が「好転」した企業が3.8%、「悪化」した企業が34.6%で同DIは△30.8と前回調査時の△11.4から19.4ポイント悪化しており、また「前年同期」と比べた同DIも△3.7と受注単価の低下等から前回調査時の24.2から27.9ポイントの大幅な悪化となりマイナスに転じた。

「3ヶ月前」と比べた受注状況は、「増加」企業12.0%、「悪化」企業38.3%で同DIは△26.3と前回調査時の△5.3から21.0ポイント悪化し2期連続のマイナスとなった。また、「前年同期比」の受注状況DIも前回調査時の41.7から10.5へと31.2ポイント悪化し、これまでの改善傾向に一服感がみられる。

規模別の「3ヶ月前」と比べた受注状況DIは、各規模とも前回調査時より「減少」企業の割合が増加しており、「1～29人企業」が△27.7、「30～99人企業」が△26.2、「100人以上企業」が△23.1と各規模ともマイナス幅は拡大している。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
<b>製造業</b>	133	9.0	60.2	30.8	-21.8	133	40.6	36.1	23.3	17.3	133	14.3	69.9	15.8	-1.5	
規模	1～29人	65	7.7	63.1	29.2	-21.5	65	36.9	36.9	26.2	10.7	65	4.6	78.5	16.9	-12.3
	30～99人	42	14.3	47.6	38.1	-23.8	42	40.5	35.7	23.8	16.7	42	31.0	52.4	16.7	14.3
	100人～	26	3.8	73.1	23.1	-19.3	26	50.0	34.6	15.4	34.6	26	11.5	76.9	11.5	0.0
中分類	金属製品製造業	14	7.1	57.1	35.7	-28.6	14	57.1	35.7	7.1	50.0	14	7.1	78.6	14.3	-7.2
	一般機械器具製造業	33	12.1	66.7	21.2	-9.1	33	54.5	24.2	21.2	33.3	33	21.2	63.6	15.2	6.0
	電気機械器具製造業	30	10.0	60.0	30.0	-20.0	30	40.0	26.7	33.3	6.7	30	13.3	66.7	20.0	-6.7
	輸送用機械器具製造業	16	0.0	62.5	37.5	-37.5	16	25.0	56.3	18.8	6.2	16	6.3	81.3	12.5	-6.2
	精密機械器具製造業	11	0.0	72.7	27.3	-27.3	11	45.5	45.5	9.1	36.4	11	9.1	63.6	27.3	-18.2

## ①諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

### ●金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

「前年同期」と比べた業況判断D Iでは、「好転」企業が57.1%、「悪化」企業が7.1%で同D Iは50.0と高水準で改善傾向がみられる。ただし、「3ヶ月前比」では「悪化」企業の割合が35.7%で同D Iは $\Delta 28.6$ と前回調査時の $\Delta 10.6$ から18.0ポイント悪化しマイナス幅は拡大している。

### ●一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械、半導体関連製造設備など)

「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは $\Delta 9.1$ と水面下ではあるが、5業種の中ではマイナス幅は最も小さくなっている。また、「3ヶ月後」の業況予想D Iでは21.2%の企業が「好転」を見込み、同D Iは6.0と5業種の中で唯一プラス転換を予想している。

### ●電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

「3ヶ月前」と比べた業況判断では「横這」とする企業が60.0%と最も多いものの、「悪化」とする企業も30.0%あり、同D Iは $\Delta 20.0$ と前回調査時の0.0からマイナスに転じた。また、「前年同期比」の業況判断D Iは6.7とプラスを維持するも、前回調査時の64.3からは大幅に悪化した。

### ●輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

「3ヶ月前」と比べた業況判断では「好転」したとする企業はなく同D Iは $\Delta 37.5$ 、また「前年同期比」の業況判断D Iは6.2と双方の数値とも5業種の中で最も低くなっている。また、「3ヶ月後」の業況予想では81.3%の企業が「横這」の状況を予想している。

### ●精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

前回調査時の「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは50.0と高水準であったが、今回調査では「横這」企業の割合が72.7%と最も高いものの同D Iは $\Delta 27.3$ と大幅に悪化した。また、「3ヶ月後」の業況予想では「好転」を見込む企業は9.1%、「悪化」を見込む企業は27.3%で同D Iは $\Delta 18.2$ と5業種中で最も慎重な見方となっている。

## ②規模別業況

規模別の「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iでは、「30~99人企業」の38.1%が「悪化」として同D Iは $\Delta 23.8$ 、「1~29人企業」でも29.2%が「悪化」として同D Iは $\Delta 21.5$ となっている。なお、「1~29人企業」では26.4ポイントの大幅な悪化となった。また、「100人以上企業」の「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iでは、「悪化」とする企業割合は前回調査時と同様の23.1%であったが、「好転」とする企業割合が減少したことから同D Iは $\Delta 19.3$ と前回調査時より15.4ポイント悪化した。

なお、「3ヶ月後」の業況予想D Iは各規模とも前回調査時からマイナス幅は縮小しており、なかでも「30~99人企業」では31.0%の企業が「好転」を見込んでおり、同D Iは14.3と前回調査時の $\Delta 27.2$ から41.5ポイント改善しプラスに転じた。

### ③受注状況D I（規模別、業種別）

製造業全社の「3ヶ月前」と比べた受注状況は、「増加」企業 12.0%、「悪化」企業 38.3%で同D Iは△26.3と前回調査時の△5.3から21.0ポイント悪化し2期連続のマイナスとなった。また、「前年同期比」の受注状況D Iも前回調査時の41.7から10.5へと31.2ポイント悪化し、これまでの改善傾向に一服感がみられる。

規模別の「3ヶ月前」と比べた受注状況D Iは、各規模とも前回調査時より「減少」企業の割合が増加しており、「1～29人企業」が△27.7、「30～99人企業」が△26.2、「100人以上企業」が△23.1と大幅なマイナスとなっている。なかでも、「1～29人企業」は前回調査時の1.6から29.3ポイント悪化しマイナスに転じた。

また、「3ヵ月後」の受注予想D Iでは「1～29人企業」は△10.8と水面下での推移を予想するも、「30～99人企業」では31.0%の企業が「増加」を見込み同D Iは4.8、「100人以上企業」の同D Iも3.9と僅かではあるがプラス転換を見込んでいる。

業種別の「3ヶ月前」と比べた受注状況D Iは、5業種全てでマイナス幅が拡大した。なかでも、輸送用機械では「増加」とする企業はなく同D Iは△50.0と落ち込んでいる。また、電気機械の「前年同期」と比べた受注状況D Iは、「増加」企業 36.7%、「不変」企業 26.7%、「減少」企業 36.7%と企業により受注状況は区々となっている。

また、「3ヶ月後」の受注予想D Iでは、金属製品と精密機械ではマイナスの推移を予想するも電気機械と一般機械ではプラス転換が見込まれている。

業種別・規模別受注状況表

表-3

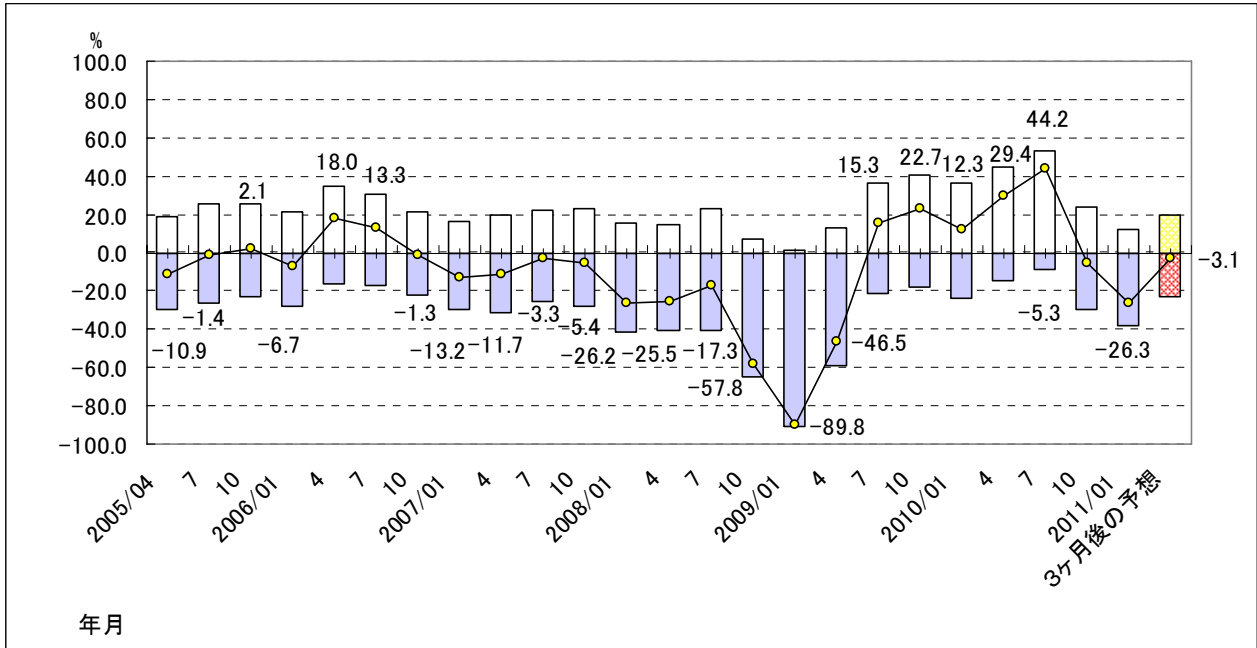
	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	
<b>製造業</b>	133	12.0	49.6	38.3	-26.3	133	37.6	35.3	27.1	10.5	133	19.5	57.9	22.6	-3.1	
規 模	1～29人	65	10.8	50.8	38.5	-27.7	65	30.8	40.0	29.2	1.6	65	13.8	61.5	24.6	-10.8
	30～99人	42	16.7	40.5	42.9	-26.2	42	40.5	28.6	31.0	9.5	42	31.0	42.9	26.2	4.8
	100人～	26	7.7	61.5	30.8	-23.1	26	50.0	34.6	15.4	34.6	26	15.4	73.1	11.5	3.9
中 分 類	金属製品 製造業	14	14.3	42.9	42.9	-28.6	14	57.1	28.6	14.3	42.8	14	7.1	57.1	35.7	-28.6
	一般機械 器具製造業	33	15.2	60.6	24.2	-9.0	33	54.5	21.2	24.2	30.3	33	21.2	60.6	18.2	3.0
	電気機械 器具製造業	30	13.3	50.0	36.7	-23.4	30	36.7	26.7	36.7	0.0	30	23.3	56.7	20.0	3.3
	輸送用機械 器具製造業	16	0.0	50.0	50.0	-50.0	16	18.8	68.8	12.5	6.3	16	18.8	62.5	18.8	0.0
	精密機械 器具製造業	11	9.1	63.6	27.3	-18.2	11	36.4	45.5	18.2	18.2	11	9.1	54.5	36.4	-27.3



製造業の受注状況D Iの推移

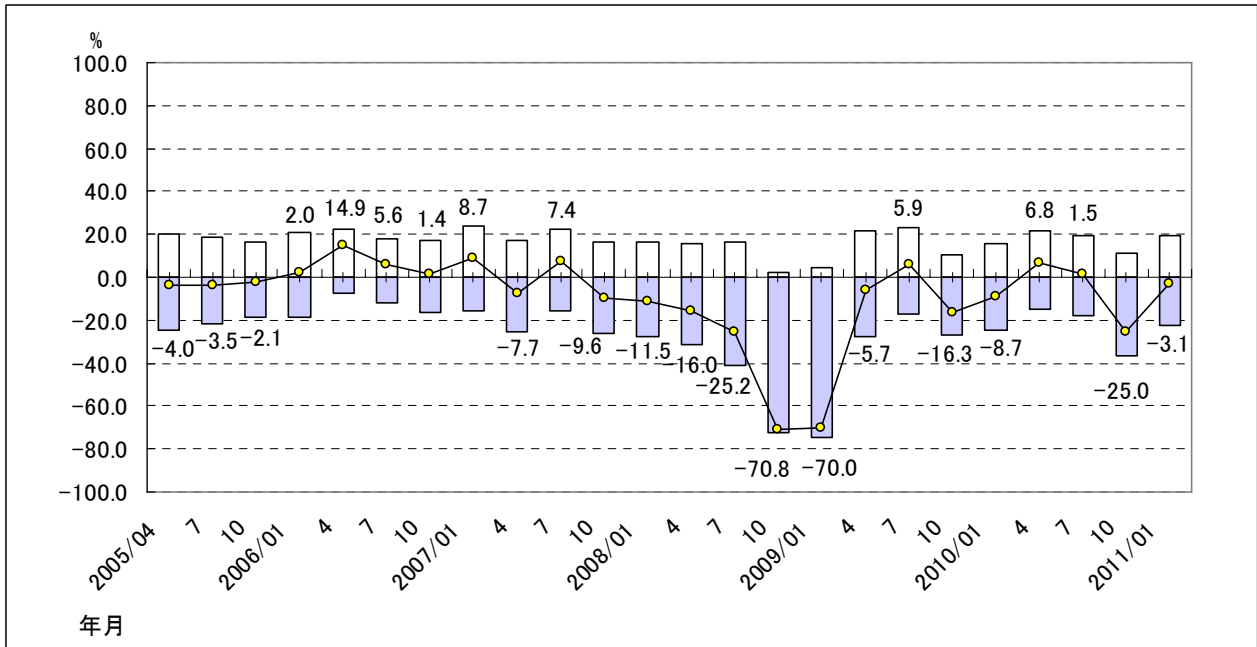
●製造業全社：「3ヶ月前」と比べた受注状況D Iの推移

グラフー4



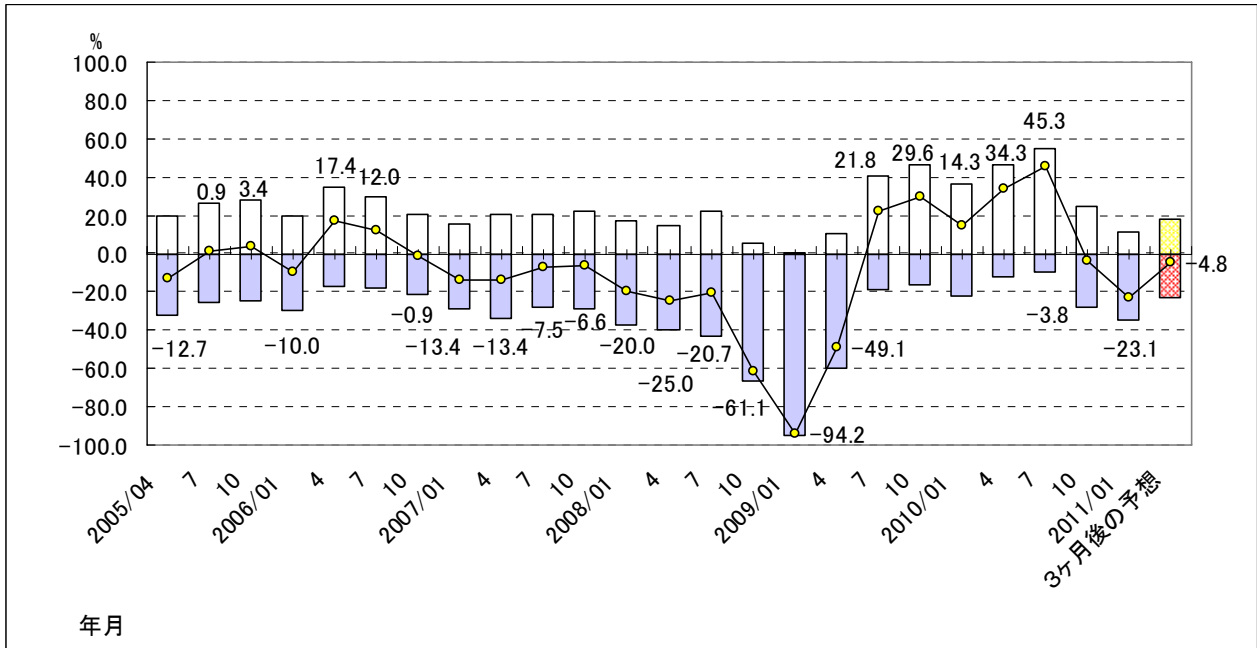
●製造業全社：「3ヶ月後」の受注予想D Iの推移

グラフー5



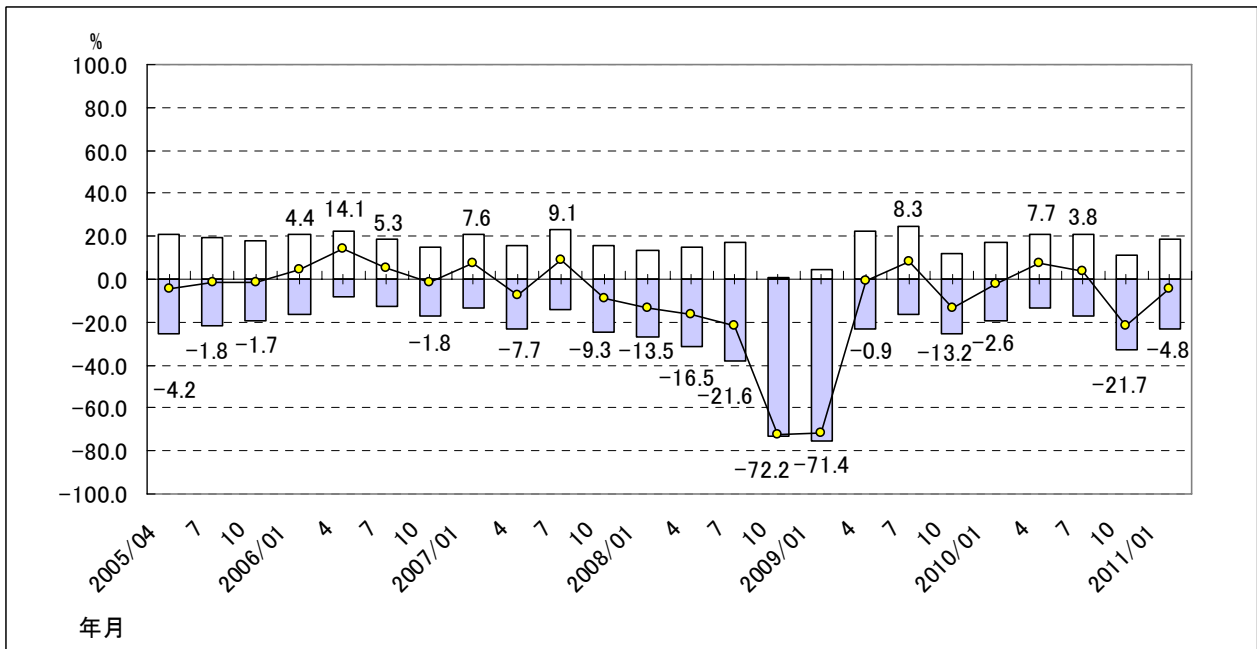
●製造業 主要5業種：「3ヶ月前」と比べた受注状況D Iの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種：「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



## 2. 商業・観光サービス業

### ①商業

諏訪地方の1月の天候は冬型の気圧配置となる日が多く、降雪は少なかったものの気温は平年より低い日が多くなった。強い冷え込みから、衣料品では防寒衣料や発熱下着などの売れ行きは好調で、食料品でも鍋物食材等に動きがみられた。

各業態とも店舗間の競合が激しいことから「3ヶ月前」と比べた来店客数DIは△43.8と大幅なマイナスとなった。ただし、「3ヶ月後」の業況予想DIでは25.0%の企業が「好転」するとして同DIは12.5とプラス転換を期待している。

- 食料品 気温の低下から鍋物食材などに動きはみられたが、店舗間の競合が激しく来店客数や商品単価が伸びていない店舗が多い。
- 衣料品 1月は気温が低くなったことから防寒衣料や厚手の靴下、発熱肌着などの冬物実用衣料の動きが活発となった。
- 自動車 諏訪地方の1月の車庫証明件数（軽除く）は804台で前年同月比△114台（△12.4%）減少とエコカー補助金終了の影響から平成22年9月以降5ヶ月連続で前年同月を下回っている。
- 家電店 エコポイント半減前の駆け込み需要の反動は残るものの、薄型TVでは2～3台目となる小型機種需要がきかれ、スマートフォンの動きも好調である。
- ホームセンター 暖房用品の動きは堅調だったが、降雪が少なく除雪用品の動きは低調であった。

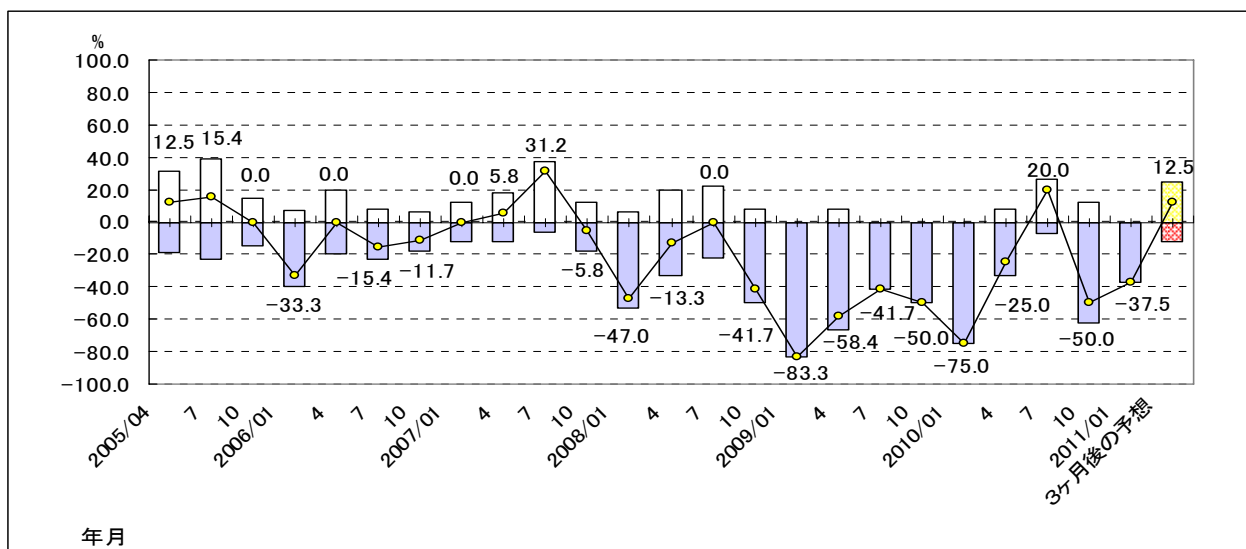
業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	16	0.0	62.5	37.5	-37.5	16	12.5	50.0	37.5	-25.0	16	25.0	62.5	12.5	12.5
客単価	16	0.0	81.3	18.8	-18.8	16	12.5	62.5	25.0	-12.5	16	6.3	87.5	6.3	0.0
来店客数	16	0.0	56.3	43.8	-43.8	16	0.0	56.3	43.8	-43.8	16	6.3	75.0	18.8	-12.5

### ●商業全社：「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-8



②観光・サービス業

秋の観光シーズンと信州DC期間中であった「3ヶ月前」と比べた宿泊客数は66.7%の施設で「減少」したとして、同DIは△47.7と大幅なマイナスとなった。ただし、「前年同期」と比べた業況判断DIでは19.0%の施設が「好転」したとして、同DIは△14.3と前回調査時の△39.2から24.9ポイント改善した。また、「3ヶ月後」の業況判断DIは4.7とプラス転換が見込まれている。

なお、信州DC終了後の誘客策として、JR東日本と連携したパック商品「あずさ de 温泉行き 信州諏訪」が3月末まで発売されており集客増加が期待される。

- 上諏訪温泉 信州DC終了後の反動を危惧していたものの、団体客の取り込みなどから前年に比べ宿泊客数を伸ばしているホテル旅館が多くみられる。
- 蓼科・白樺湖・雪不足であった昨年に比べ、入り込み客数が増加したスキー場がみられるもの車山方面ほか の、ホテル旅館の宿泊客数は前年比△10～20%程度減少した施設が多い。
- 下諏訪温泉 宿泊客数は前年比+10～20%増加した施設が多いものの、宴会需要の低迷がきかれる。
- 諏訪大社 上社・下社を合わせた1月の参拝客数は約445千人と、前年同月比約+17千人の増加となった。信州DCのポスターに使われた万治の石仏への観光客数は、キャンペーンの終了後も大幅に増加している。

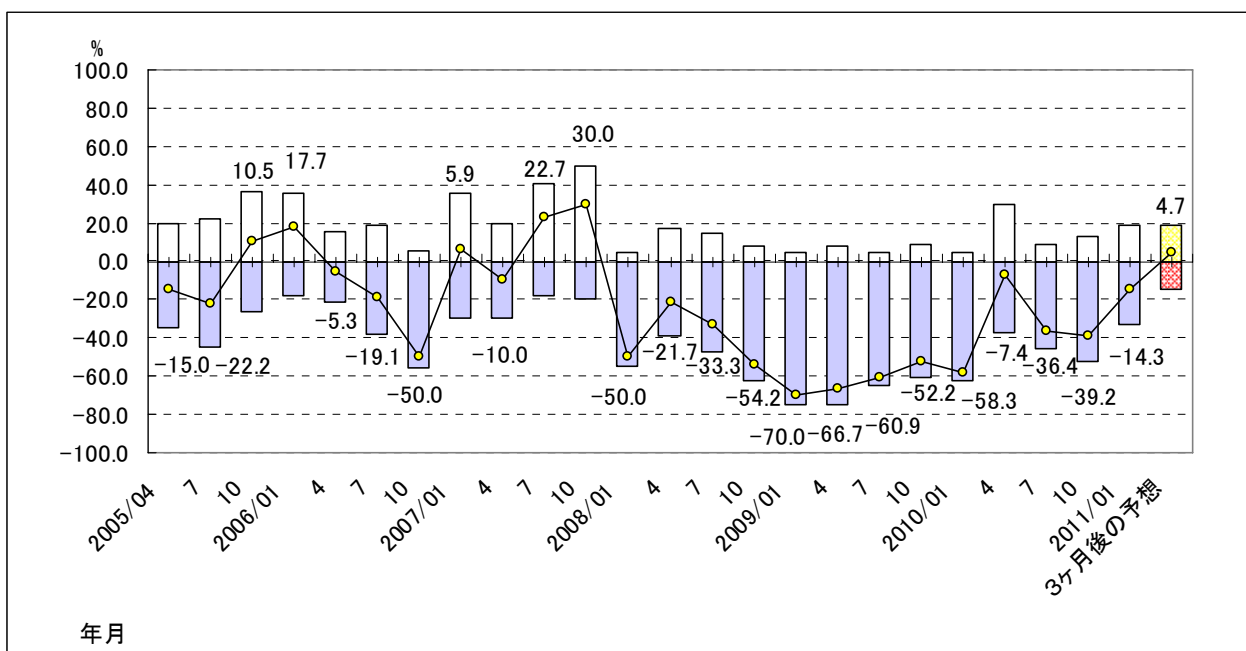
業況、売上、宿泊客

表-5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	21	14.3	28.6	57.1	-42.8	21	19.0	47.6	33.3	-14.3	21	19.0	66.7	14.3	4.7
客単価	21	4.8	42.9	52.4	-47.6	21	0.0	47.6	52.4	-52.4	21	4.8	66.7	28.6	-23.8
宿泊客数	21	19.0	14.3	66.7	-47.7	21	23.8	38.1	38.1	-14.3	21	38.1	38.1	23.8	14.3

●観光・サービス業全社：「前年同期」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-9



### 3. 建設業

「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは「横這」とする企業が81.3%、「悪化」とする企業が18.8%で同DIは△18.8と前回調査時の△12.5から引き続き水面下での推移となっている。また、「3ヶ月後」の業況予想DIでは50.0%の企業が「悪化」を見込むなど厳しい状況を予想している。

#### ●建築工事

諏訪地方の12月の新設住宅着工戸数は103戸で、昨年同月の118戸に比べ△15戸（△12.7%）の減少となった。また、平成22年4月～12月の累計着工戸数は782戸で前年同期累計比では△166戸（△17.5%）の減少となった。

平成22年1月～12月の住宅着工戸数は、全国は81万3,126戸と前年比+3.1%増加したものの、長野県内は1万650戸と前年比△3.0%減少、諏訪地域内は953戸と前年比△19.3%減少となった。

#### ●公共工事

1月に地元業者が受注した県関係の公共工事は22件234百万円で、平成22年4月～平成23年1月の累計契約は177件3,856百万円と前年同期累計比では件数は+11件増加しているものの、契約金額は△118百万円の減少となった。また、市町村の1月の発注工事は、建築工事4件12百万円、土木工事・下水道工事37件180百万円、その他工事12件43百万円の合計53件236百万円で前年同月に比べ件数は△13件の減少、契約金額は△187百万円の減少となった。

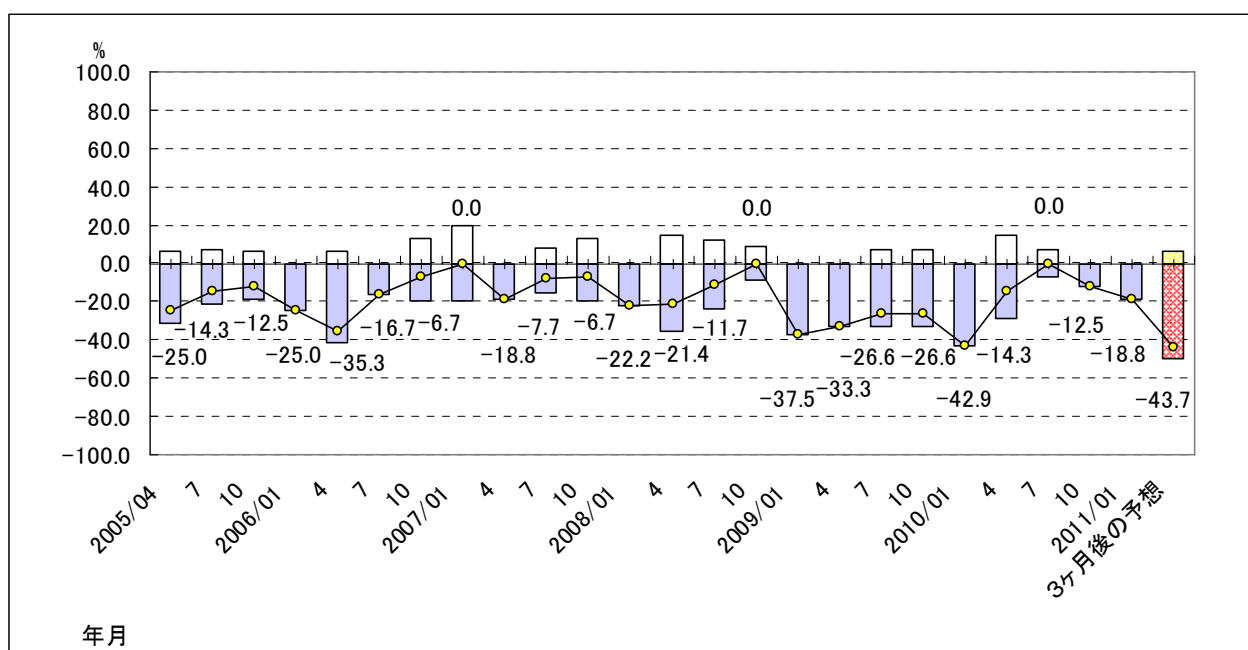
業況、受注状況、外注発注量

表-6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	16	0.0	81.3	18.8	-18.8	16	0.0	68.8	31.3	-31.3	16	6.3	43.8	50.0	-43.7
受注状況	16	0.0	56.3	43.8	-43.8	16	0.0	50.0	50.0	-50.0	16	0.0	56.3	43.8	-43.8
外注発注量	16	0.0	62.5	37.5	-37.5	16	12.5	37.5	50.0	-37.5	16	0.0	50.0	50.0	-50.0

#### ●建設業全社：「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-10



#### 4. 収益性状況

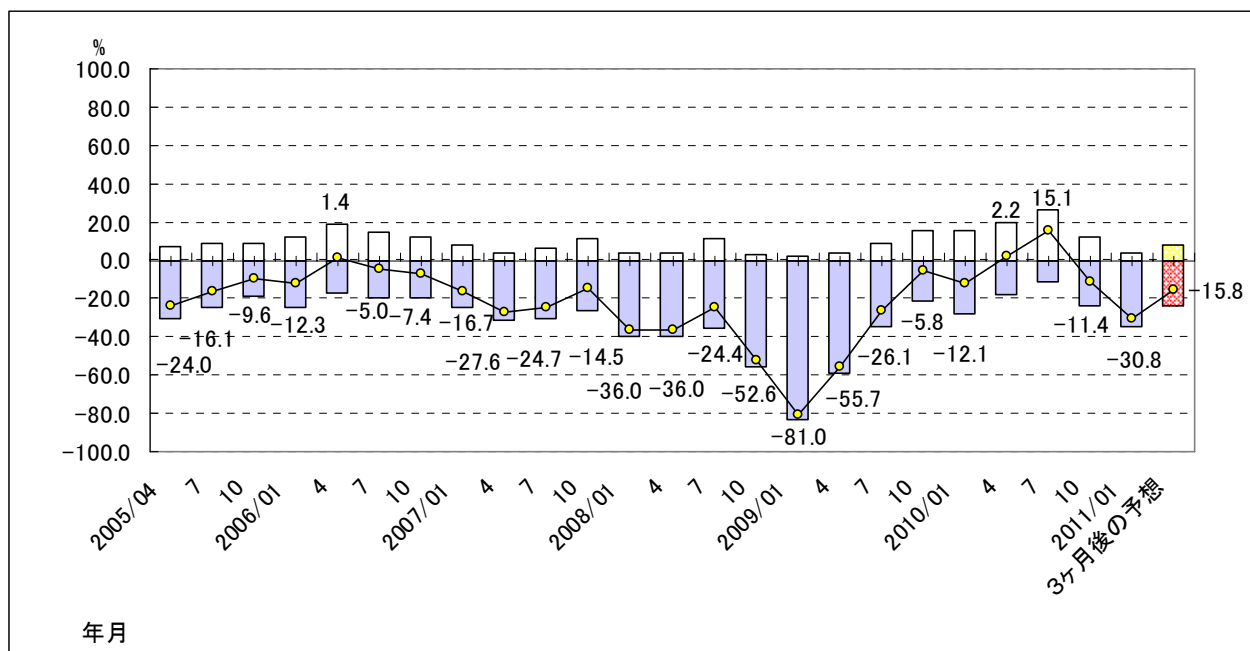
回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性D Iは、「好転」企業が3.2%、「横這」企業が61.3%、「悪化」企業が35.5%で、同D Iは $\Delta 32.3$ と前回調査時の $\Delta 15.0$ からマイナス幅が拡大した。

製造業は、「3ヶ月前」と比べ収益性が「好転」した企業が3.8%、「悪化」した企業が34.6%で同D Iは $\Delta 30.8$ と前回調査時の $\Delta 11.4$ から19.4ポイント悪化しており、また「前年同期」と比べた同D Iも $\Delta 3.7$ と前回調査時の24.2から27.9ポイントの大幅な悪化となりマイナスに転じた。

非製造業の「3ヶ月前」と比べた収益性D Iは $\Delta 35.8$ と前回調査時の $\Delta 23.6$ からマイナス幅が拡大し、「3ヶ月後」の収益性予想D Iも $\Delta 20.7$ と水面下での推移となっている。

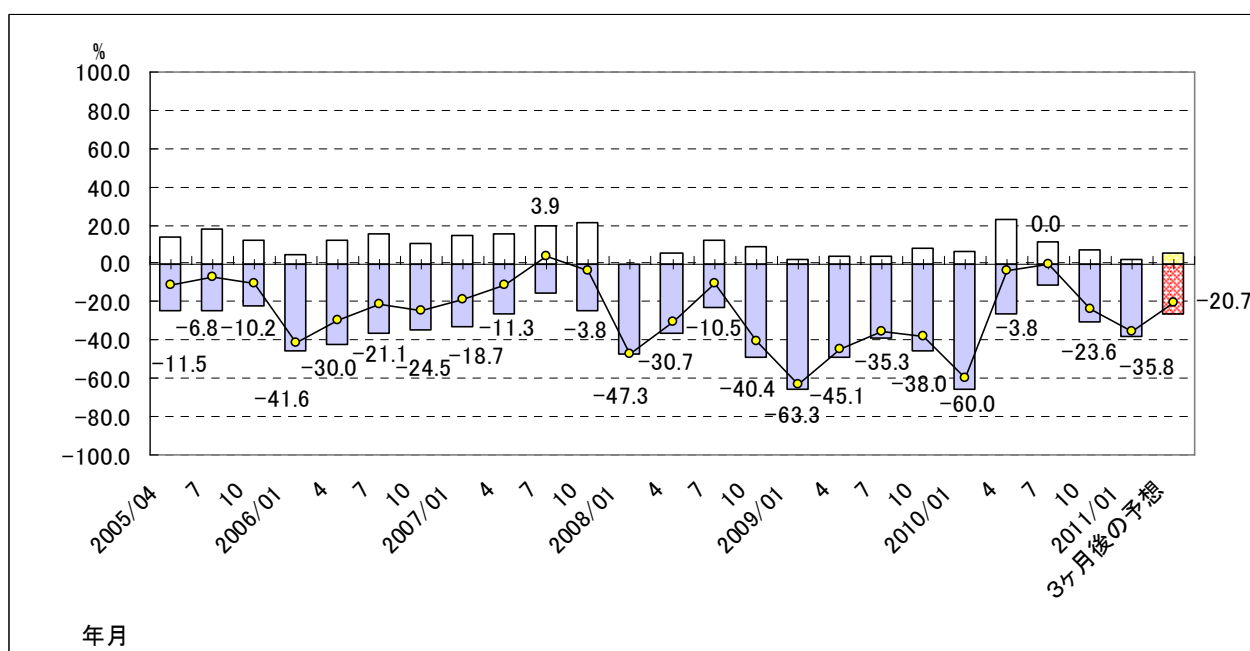
●製造業：3ヶ月前と比べた収益性D I

グラフー11



●非製造業：3ヶ月前と比べた収益性D I

グラフー12



## 5. 経営上の課題

経営上の課題として、①製造業は売上減少、単価引下げ、競争激化をあげる企業が多く、②商業は売上減少、競争激化、人件費、③建設業は売上減少、競争激化、④観光・サービス業は売上減少、単価引下げ、資金繰りをあげている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	98	65	7	11	15
単価引下げ	60	50	1	2	7
競争激化	53	40	4	7	2
資金繰り	35	21	2	5	7
人件費	25	15	4	1	5
労働力確保	20	19	0	0	1

## 6. 諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比	
有効求人倍率【12月】	ハローワーク諏訪	0.58倍	+0.18ポイント	
手形交換高【1月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	8,474枚	+1,389枚	
	金額	11,698百万円	+2,553百万円	
	うち不渡り発生状況	枚数	14枚	+9枚
	金額	8,732千円	△6,569千円	
電力使用量【1月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	88,952 MWh	+1.3%	
	高压電力計	108,199 MWh	+5.0%	
	合計	197,151 MWh	+3.3%	
車庫証明取扱件数【1月】(諏訪地方合計)		804件	△12.4%	
新設住宅着工戸数【H22.4月～12月】(諏訪管内)		782戸	△17.5%	

## 7. 調査概要

DI調査：業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値

①調査期間 平成23年1月末

②調査内容 「平成23年1月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3ヶ月後」の予想

③調査方法 アンケート調査(回答数 下記7)及びヒアリング調査(約120社)

④対象地域 諏訪地域全域

⑤業種 製造業、商業(大型店：売り場面積501㎡以上)、建設業、観光・サービス業

⑥回答企業数 186企業

⑦回答率 69.7%

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業	合計
依頼数	200	20	20	27	267
回答数	133	16	16	21	186